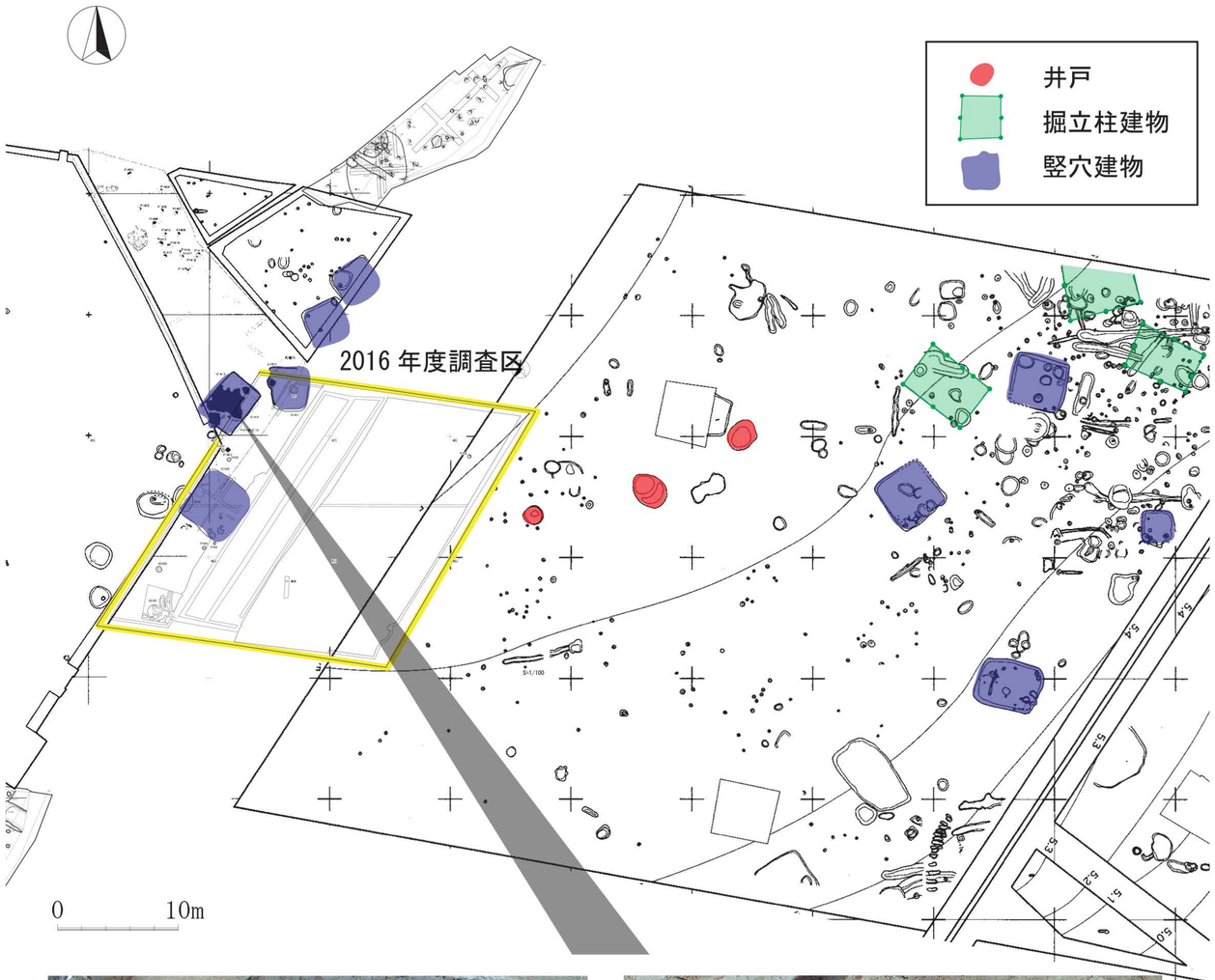
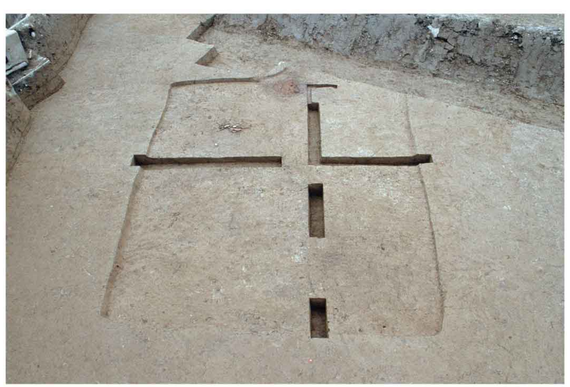
古代の柄目木ムラ

掘立柱建物（ほったてばしらたてもの）・竪穴建物（たてあなたてもの）・井戸・土坑（どこう）・溝などを検出しました。ムラの構成は、井戸を中心にして東西に掘立柱建物や竪穴建物が配置されていたようです。今回の調査区は西側の居住域にあたます。竪穴建物の一辺にはカマドが備え付けられています。



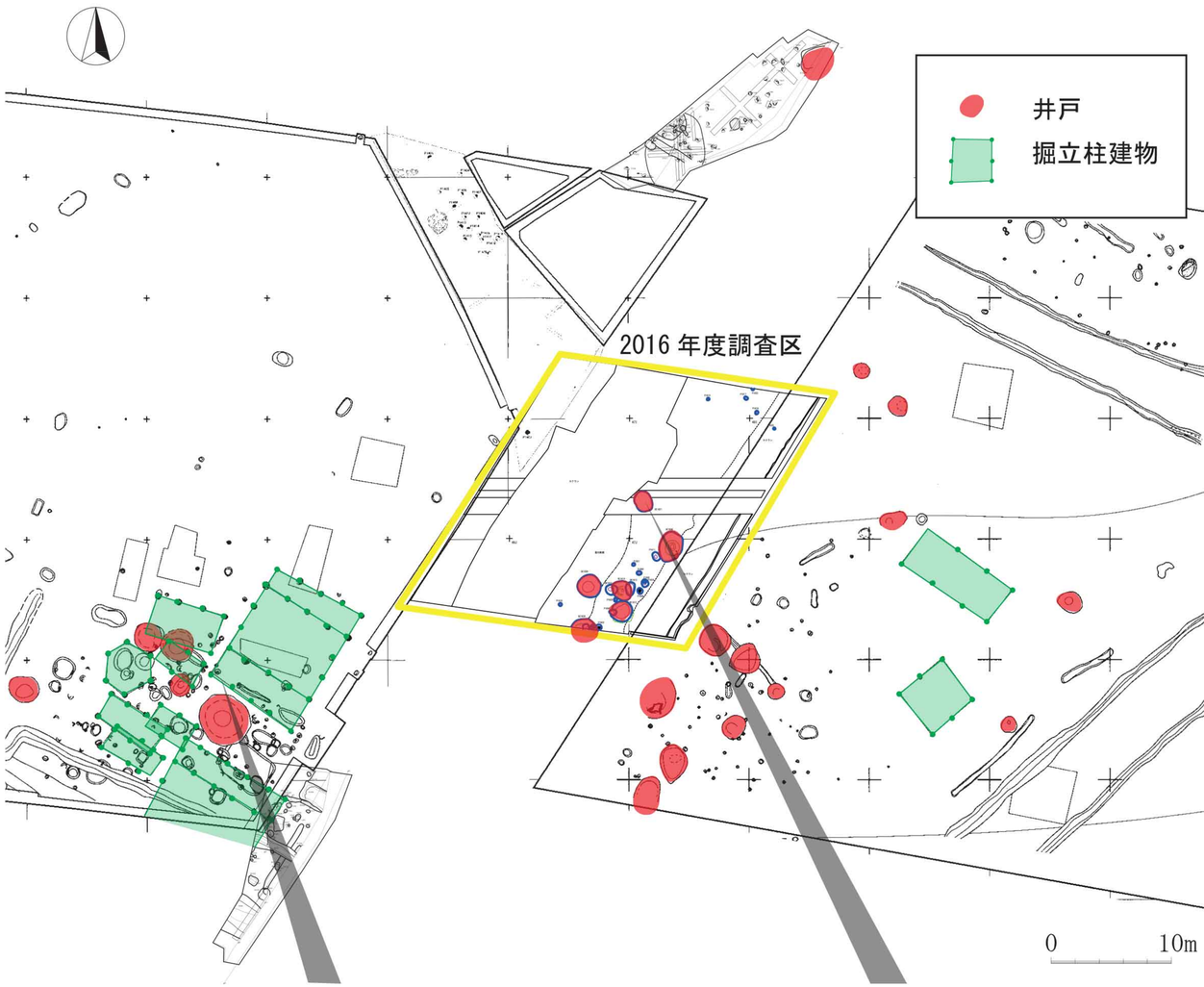


竪穴建物 SI1410 全景　北から撮影

竪穴建物 SI1410 カマド　北から撮影

中世の柄目木ムラ

掘立柱建物・井戸・土坑・溝などを検出しました。ムラの中心は、古代よりもやや西へ移動しています。当時の人々が住んだ掘立柱建物は、今回の調査区より南西側の 2008 年度調査区に集中しています。一方、生活に欠かせない井戸は今回の調査区から南東側にかけて多く造られています。



掘立柱建物群（2008 年度調査区）　東から撮影

井戸 SE1621 完掘　南から撮影